

	意見の要旨	市の考え方・対応
1	建設場所の標高は2～4mで、津波災害を受けやすい場所と認識する。近くのチャレンジオフィスもあるが、新規に秋田市の公営施設を建設するのだから、見学来場者・近隣住民・国道に面する場所柄駐車場もあり通行する運転手・同乗者等も速やかに避難できる簡易な避難設備タワーも兼ねた構造物にする必要がある。	想定している施設規模から、津波避難ビル・津波避難場所の要件を満たすことは難しいと考えております。その他の大規模災害時の避難場所としての活用について、検討してまいります。
2	平和学習のコーナーが出来ることに大賛成である。小中学生から市民の大人まで、秋田の戦争の歴史を知る事はとても重要で大切な事である。終戦前日に何故投下されたか等、米軍資料も入手して、日米双方からの歴史的資料を展示してほしい。	来年度、展示計画を策定する段階でご意見を参考とさせていただきます。現在市が所有する資料・記録についてもあわせて検討してまいります。
3	空襲展示ホールに「平和の鐘」を設置し、行事や記念式典で打ち鳴らして欲しい。広島の平和の鐘のように。ただし、梵鐘ではなく、西洋式の鐘であれば良い。また、鑄造する過程で、もし可能であれば、土崎に落とされた兵器の一部を溶解して鑄造して欲しい。大きさは展示ホールの広さによる。小学生や幼稚園児等も打ち鳴らせるようにしてほしい。	ご意見は、参考とさせていただきます。
4	土崎歴史資料館建設期成同盟会のメンバーや代表者、本事業担当者を記載してほしい。	本事業は、企画財政部企画調整課が担当しております。期成同盟会の方々の氏名については、個人情報のため、公開いたしません。
5	本事業の予算はいくらなのか提示してほしい。	基本計画に記載することとしております。
6	意見の募集期間が短すぎ、考える時間を確保すべきである。	今後、ご意見に留意して対応いたします。
7	意見の公表は、いつ、どのようにするのも記入して配布すべきである。	今後、ご意見に留意して対応いたします。
8	曳山の展示は、セリオンの空いている場所、踊りの実演や練習はコミセンや他の施設（文化会館、生涯学習室、なかいち）、歴史展示は寺内の歴史館や赤れんが郷土館等で行えば良いのではないか。	土崎港曳山祭りの伝承や土崎空襲の記憶の継承を一元化でき、地域の方々に、日常的に使用される施設を目指してまいります。

	意見の要旨	市の考え方・対応
9	「秋田市しあわせづくり市民意識調査結果」では「秋田市に力を入れてほしい施策」と「秋田市に住み続けるために必要と思われること」の上位を、雇用の場の確保等の雇用対策が占めており、歴史や文化を活かしたまちづくりは期待されていない。これまでも秋田市は莫大な市税を投入し、ムダなハコモノを建てて市の借金をふくらませ、約1,400億円もの借金があるがどうするのか。今後は人口減により市の収入が増える見通しはないが、一部の人の意見でまたムダなハコモノを建て、市民に負担を強いるのはやめてほしい。全国一の人口減少、少子高齢化と希望のない本県において、本市の取組は重要であり責任がある。市民の要望の具現化に向けた真の取組、しっかりと見通しを持った取組を期待したい。歴史・文化・芸術などと言って浮かれず、また、外旭川に駅ができるなら、土崎・新屋にも何か建てるといった発想は悲しい。雇用確保ができ、市の借金が減って余裕ができてから考えてもらいたい。市の財政が破綻し、第2の夕張市のようになるのではないかと不安を抱えている。市役所の各課で競うようにハコモノを建てることに本当に怒っている。	いただいたご意見等については、今後の参考とさせていただきます。
10	概要(1)の「行政と市民がともにまちづくりに関わり」について、行政が描くまちづくり構想の具体（イメージ）および方向性の先にあるものを提示してほしい。	ご意見をもとに、基本計画に反映させていただきます。
11	（上記と同じ箇所について）市民（地域住民）に求めるものは何か。	ご意見をもとに、基本計画に反映させていただきます。
12	類似施設を参考にした概算事業費の試算結果および年間維持管理費の試算結果はどうか。	基本計画に記載することとしております。
13	管理運営主体の構想はどうか。	基本計画に記載することとしており、地域の歴史・文化を活かしたまちづくりの観点から、土崎港曳山祭りの伝承や土崎空襲の記憶の継承に関する団体・活動者や町内会などが関わり、管理主体となることが理想と考えています。
14	リピーター確保に向けた課題をどう考えるか。	地域の方々に、日常的に使用される施設を目指してまいります。
15	記念樹を植えてほしい。 ハマナス花壇を作ってほしい。	基本設計・実施設計の段階でご意見を参考とさせていただきます。
16	畳敷きの和室がないのが残念である。和室に入るときのしぐさなど、次代に伝えたいことの一つにしたい。	計画への反映は困難であり、北部市民サービスセンターではサークルなど市民活動の場として和室を設置しておりますので、各施設の趣旨を踏まえ、ご活用ください。

	意見の要旨	市の考え方・対応
17	秋田は雪・雨が多く、風も強く、津波の恐怖もある。建物を持ち上げて下を駐車場や広場にし、雨が降っても使えるようにしたら良いのではないかな。	施設北西部の企画展示室（2階）の下部をピロティ形式の屋外活動スペースとして想定しています。施設を持ち上げて駐車場を確保することは、建設コスト等から想定しておりません。
18	単に祭り・曳山というものの形だけを残していく、継承していくのであれば、プロダクションを作り、人を集めて単にそれなりの格好をさせて続けていくのも良いのではないかな。	土崎港曳山祭りの伝承や土崎空襲の記憶の継承に関する団体・活動者や町内会など、実際に伝承等に取り組んでいる方々が関わり、人材育成とともに伝えていくことが必要と考えています。
19	J R 土崎駅と道の駅あきた港を結ぶ公共交通手段がない。J R 土崎駅からのバスがない。土崎駅から乗り合いタクシーで土崎市街地を環状線で回り、セリオンまで行くルートで、スーパーマーケット、医療、役所等をまわるのがあれば、老人の方にも地域に根ざす町になるのではないかな。	いただいたご意見等については、今後の参考とさせていただきます。
20	医者に行った子どもや老人を医者のところまで迎えに行くのは駐車場や市街地の道が狭くて大変なため、セリオンや拠点施設で処方箋を出して迎えを待つように出来たら良い。	いただいたご意見等については、今後の参考とさせていただきます。
21	いかに地域に根ざしたものにし、心を継承していくためには、器になるものを育てていきたい。曳山というのはセレモニーのようなもので、それまでの過程を大切に、打ち合わせする祭りの準備期間、そして祭りが終わり解散するときまで、どこか一つの町内が持ちまわりでいるようなものを継承していくことに本当の意味がある。	地域の歴史・文化を活かしたまちづくりの観点から、土崎港曳山祭りの伝承や土崎空襲の記憶の継承に関する団体・活動者や町内会など、実際に伝承等に取り組んでいる方々の関わりが必要と考えています。来年度以降、関係者へ計画を周知し、協議していきたいと考えております。
22	手すり・点字など、高齢者・視覚障害者に配慮した施設に。	基本計画に記載することとしております。
23	土崎地区個人の歴史的所有物の展示をしてはどうか。	来年度、展示計画を策定する段階でご意見を参考とさせていただきます。
24	土崎を中心とした北部活性化プロジェクトチームを作ってはどうか。	土崎港曳山祭りの伝承や土崎空襲の記憶の継承に関する団体・活動者や町内会など、実際に伝承等に取り組んでいる方々の関わりが必要と考えており、ご意見を参考とさせていただきます。
25	土崎地区全体の活性化アイデアとして ・土崎地区の蔵の活用 ・港・秋田運河の利用 ・神明社通りでイベント開催 ・セリオンリスタを水族館に ・臨海鉄道の活用（イベント列車、居酒屋・カラオケ列車、新屋までの延長等） ・セリオン周辺の整備 ・土崎本町通りの電柱地中化 ・かすべ料理の研究とかすべ祭りとしてPR ・恋の町のPR	ご意見は、参考とさせていただきます。